

令和6年度 観音寺市議会 委員会研修状況

○研修の内容については、議会だよりに掲載しております。

※(正):委員長、(副):副委員長

No.	研修日	研修形態	参加議員名 ※	< ■研修先 / ★研修項目 >
1	令和6年 5月7日～9日	総務委員会	篠原 和代(正) 合田 千佳子(副) 大平 直昭 白川 雅仁 岸上 政憲	■ 京都府綾部市
				★ 空き家活用を含む移住・定住事業について ★ コミュニティナース制度について
				■ 京都府宮津市
				★ 道の駅 海の京都 宮津について
2	令和6年 5月14日～16日	建設経済委員会	石山 秀和(正) 三好 優子(副) 大久保 隆敏 立石 隆男 豊浦 孝幸	■ 京都府船井郡京丹波町
				★ 道の駅 京丹波 味夢の里について
				■ 東京都豊島区
				★ マンガ・アニメを活用したまちづくりについて
				■ 千葉県館山市
				★ 道の駅 グリーンファーム館山について
3	令和6年 7月4日～5日	議会運営委員会	石山 秀和(副) 大久保 隆敏 立石 隆男 篠原 和代 豊浦 孝幸 岸上 政憲 大矢 一夫(議長) 篠原 重寿(副議長)	■ 千葉県鴨川市
				★ 里のMUJI みんなみの里について
				■ 千葉県千葉市
				★ 民間活力を活かした公園施設について
4	令和6年 8月6日～8日	文教民生委員会	詫間 茂(正) 藤田 均(副) 篠原 重寿 伊丹 準二 井下 尊義	■ 鳥取県鳥取市
				★ AI翻訳の字幕表示と手話通訳について
				■ 岡山県岡山市
				★ 議会運営の概要について ★ 予算決算特別委員会等の委員会審査について
5	令和6年 8月19日～20日	広聴広報委員会	豊浦 孝幸(副) 篠原 重寿 豊浦 孝幸 白川 雅仁	■ 山口県下関市
				★ 下関市学校給食調理等業務委託について
				■ 福岡県筑後市
				★ 筑後保育所施設整備事業について
6	令和6年 9月27日	総務委員会	篠原 和代(正) 合田 千佳子(副) 大平 直昭 白川 雅仁 岸上 政憲	■ 熊本県熊本市
				★ フレンドリーオンライン(教育ICTを活用したオンラインによる不登校児童生徒への学習支援)について
				■ 三重県桑名市
				★ 議会だよりについて ★ 議会報告会、意見交換会について ★ 社会見学、出前授業について ★ 議会いきいきトークについて
7	令和6年 9月27日	総務委員会	篠原 和代(正) 合田 千佳子(副) 大平 直昭 白川 雅仁 岸上 政憲	★ YouTubeチャンネルについて
				■ 大阪府八尾市
8	令和6年 9月27日	総務委員会	篠原 和代(正) 合田 千佳子(副) 大平 直昭 白川 雅仁 岸上 政憲	★ 議会だよりについて ★ 議会ポスターについて ★ 公式SNSアカウントについて
				■ 香川県小豆郡小豆島町
9	令和6年 9月27日	総務委員会	篠原 和代(正) 合田 千佳子(副) 大平 直昭 白川 雅仁 岸上 政憲	★ 地域おこし協力隊員の活動状況について

令和6年度 観音寺市議会 個人研修状況

No.	研修日	研修形態	参加議員名	< ■研修先 / ★研修項目 / ◆報告・感想 >
1	令和6年 7月1日～3日	個人行政視察	立石 隆男 豊浦 孝幸 井下 尊義 大平 直昭 合田 千佳子	■ 宮崎県日向市
				★ サーフタウン日向推進事業について 大雨による交通機関運休のため中止
				■ 大分県大分市
				★ 議員対策研究会について ◆ 導入経緯 平成18年11月 当時の議長が、議会運営委員会の中で、議会全体で政策条例の策定や政策提言を行うための組織をつくってほしいと提案 平成19年2月 議会運営委員会や地方分権等調査特別委員会で協議 平成19年3月 議員政策研究会を立ち上げ 議員政策研究会 全議員が研究会の構成員／全議員から政策課題を募集／全議員で政策課題を決定／政策課題に応じて、具体的に調査研究する推進チームを設置／全会一致が原則 政策課題を決定するまでの流れ 1. 募集課題を条例にするか市長への提言にするか、役員会議で決定 2. 政策課題を全議員から募集 ＊個人やグループから、毎回10件前後の応募がある 3. 応募者によるプレゼンテーション ＊応募者は役員会議でプレゼンを行う(持ち時間7分間) 4. 役員会議で課題を1つに絞る 5. 全体会議に諮り、課題を決定 これまでの政策課題 大分市議会基本条例／大分市子ども条例／災害対策に関する政策提言／大分市民のこころといのちを守る条例／大分市健康づくり推進条例／投票率の向上対策に関する政策提言／大分市若者応援条例／移住・定住の取組に関する政策提言(調査研究中)
				■ オムロン太陽 工場視察(大分県別府市)
				◆ 設立:1972年2月4日 社員数:73名(うち障害のある人 35名) ※2024年4月現在 設立の背景 事業や経営を通じて社会に貢献していく姿勢(企業の公器性)を社憲にまとめた、オムロン株式会社の創業者である立石一真。「世に身心障がい者(児)はあっても仕事に障害はあり得ない」の信念のもと、社会福祉法人「太陽の家」を設立した中村裕医学博士。この二人の理念の共鳴により、日本で初めての福祉施設・身障者・民間企業の合弁会社としてオムロン太陽株式会社は誕生し、別名「車イスのある工場」と呼ばれた。 社内の取り組み ・「ユニバーサルデザインものづくり(ゆにもの)」の取り組み 障がいの特性やハンディキャップを超えて、ともに助け合い、誰もが働きやすい職場を目指し作業改善や治具の作成を行っている。 ・改善活動・提案活動 生産性や品質の向上、環境整備や職務拡大のため、全社で改善活動を行い、年1回報告会を行っている。この他に個人で改善を報告する提案活動も行っている。 ・5Sの活動 ※整理、整頓、清掃、清潔、躰の5項目を徹底して行う 毎日の清掃に加え、2021年度から毎月1回、20分間の5Sタイムを導入し、社員全員で作業スペースの整理整頓や装置内の清掃などを行っている。 地域貢献活動(CSR) ・出前授業、体験 幼稚園・小学校・中学校で、出前授業や体験講座を行っている 電気の通り道 オムロン製スイッチを使った理科の事業／手話に楽しみながら、楽しく学ぶ／経済、SDGs／パラスポーツ体験(車いすバスケット、ボッチャ) ・障害のある当事者の講演／障害の知識やダイバーシティ&インクルージョンについて／雇用や支援のノウハウ／障がいのある人との共生や、環境づくりに関するディスカッション

No.	研修日	研修形態	参加議員名	< ■研修先 / ★研修項目 / ◆報告・感想 >
1	令和6年 7月1日～3日	個人行政視察	立石 隆男 豊浦 孝幸 井下 尊義 大平 直昭 合田 千佳子	■ 大分県別府市 ★ 社会福祉法人 太陽の家 ◆ 理念 保護より機会を、障がいのある人が取り残されることのない社会 太陽の家は、創設者中村裕のチャレンジ精神を引き継ぎながら、障がいのある人の仕事や生活をサポートしている。創設以来、障がいのある人の働く場づくりに取り組み、多くの人が自分の能力を発揮して働いています。たとえどんなに重度の障がいがあってもありのまま受け入れられる社会を目指す。 事業概要 施設入所支援／就労移行支援／就労定着支援／就労継続支援A型／就労継続支援B型／障害者支援施設ゆたか／短期入所ゆたか／障害者相談支援センターたいよう／障がい者就業・生活支援センターたいよう／福祉ホーム亀川ハイツ 地域交流の場 コミュニティセンター(多目的ホール)／あせびホール(会議室)／サンスポーツセンター(体育館・トレーニングルーム) 共同出資会社 オムロン株式会社／ソニー・太陽株式会社／ホンダ太陽株式会社／三菱商事太陽株式会社／デンソー太陽株式会社／オムロン京都太陽株式会社／エフサステクノロジーズ太陽株式会社 〔太陽ミュージアム〕 太陽の家は1965年創設以来、障がい者の生活・仕事・スポーツを通し自立を支援している。 太陽ミュージアムは、これからの共生社会へ情報発信を続けていくための拠点であり、地域交流の場となる。 ・学ぶ: 日本の障がい者スポーツの父と呼ばれた中村裕が唱えた“No Charity, but a Chance!”の精神を伝えたい。貴重な資料やアーカイブの閲覧もできる。 ・体験する: 障がい者の暮らしをサポートする道具や用具の体験を通して、その工夫やユニークなアイデアに触れてみてください。ボッチャの体験や車いすレーサー、バスケットボール用車いすの試乗ができる。 ・感動する: 自分自身の可能性を見つけてもらい、だれもが自分らしく生きられる社会へ。本当の共生社会の実現に向けた活動の輪を別府から国内外へ広げていく。
				■ 静岡県富士市 ★ 道の駅 富士川楽座について ◆ ①最大の特徴は、東名高速道のSAとの合体であること。「通過する町」という課題から、高速走行車を逃さない様SAとしている。(高速と一般道から双方の乗り入れが可能・繁栄に伴い市が3億1700万円かけて立体駐車場を整備) ②指定管理料は無し。民間が独立採算制で行っている。市には、収益で出た1/2を収益還元金として納めている。 ③R5年度は347万人が来場し、約30億円の売上げがある。 ④来訪者に飽きさせないため、四季で必ず展示物・ものようしものを変え、工夫をしている。
2	令和6年 7月17日～19日	個人行政視察	大矢 一夫 詫間 茂 伊丹 準二 岸上 政憲	■ 埼玉県坂戸市 ★ 葉酸プロジェクト推進事業について ◆ ①ビタミンB6に注目して、女子栄養大学の研究結果を市の政策に取り込んでいる。事業予算は約2000万円。 ②葉酸を取ることで、動脈硬化・認知症・脳卒中のリスク低減、乳児の神経管閉鎖症の予防、医療費削減の効果。妊婦の方には葉酸米をプレゼントし、乳児の神経管閉鎖症の予防の重要性も説明している。 ③食育推進事業の一環として、葉酸を多く摂取できるメニューや食品提供する市内店舗を「食を通じた健康づくり応援店」として認定。葉酸フェアを開催したり、市民の健康づくりを応援している。
				■ 神奈川県座間市 ★ LINEの拡張利用について ◆ ①運用開始から1年が経過。約80種類の手続きがオンライン化している。友達登録者は人口の半数を超える。 ②LINEを通じて市民の意見を受けるよう拡張し、駐輪場の拡張や道路等の不備の連絡があり市で対応している。 ③個人情報を取り扱う時には、個人情報事務取扱登録簿の記載が必要となるため、各所属にて追記を行った。 ④忙しいときや夜・土日でも手続きできるのが、喜ばれている。
				■ 東京都葛飾区 ★ かつしか教育情報化推進プランについて ◆ ①児童・生徒一人ひとりに応じた学習活動や学習課題に取り組める「個別最適な学び」と、探究的な学習や体験活動等を通じ、児童・生徒同士で学びあう「協働的な学び」に適した学習コンテンツを導入。 ②手をあげた生徒1人と先生だけが問題に取り組んでいたが、ICTを使用する事により、全員が参加出来るのが最大のメリット。 ③アプリやサービス導入のルールを確立し、授業を見てもらいながら業者にバージョンアップ。デジタル採点システム導入。導入に向けた段階的に計画・順序だてて勉強の上進めている。